

いずみさの昔と今 第369回

泉佐野市内の行政単位の歴史

日本遺産である九条家領「日根荘」は、泉佐野市内の広域を占める庄園でした。一方で上之郷地区には和泉国府の所領である上之郷、長滝地区には藤原氏の氏長者が伝領した長滝庄、樫井・岡本地区には京都にある嘉祥寺の所領である日根庄（九条家領「日根荘」とは別の庄園です）などといった所領が存在していました。九条家領「日根荘」には当初入山田・日根野・井原・鶴原の4つの村がありましたが、15世紀には井原・鶴原の2カ村が武家の手に渡ってしまいます。16世紀はじめ頃には泉南地域に根来衆が強く勢力を及ぼすようになり、最終的に九条家も根来寺に経営を任せます。他の所領についても、武家や根来衆の影響下になっていたと考えられます。

江戸時代には九条家領「日根荘」のうち入山田村は大木村と土丸村、日根野村は大部分が日根野村のまま、鶴原村は鶴原村と瓦屋村（のち上瓦屋村・下瓦屋村に分村）、井原村は中庄村・佐野村・安松村に分かれます。また上之郷は上之郷村、長滝庄

は長滝村、嘉祥寺領日根庄は樫井村と岡本村となります。他にも17世紀半ば頃に泉南地域に点在した未開発地が俵屋新田村として開発され、その一部が日根野村と佐野村と長滝村の間に位置しました。これらのうち江戸時代を通じて岸和田藩（岡部家）領だったのは、大木・土丸・日根野・佐野・安松・俵屋新田の6カ村です。鶴原村は当初岸和田藩領でしたが、岡部家から分家した家が旗本となり、岸和田藩領と旗本領（のち幕府領）に、上瓦屋村は当初近江小室藩領でその後は主に幕府領、下瓦屋村は当初幕府領でのち岸和田藩領、中庄村は当初近江小室藩領でその後幕府領や岸和田藩領など、岡本村と樫井村は当初岸和田藩領でのち主に幕府領になります。

明治時代になると和泉国が堺県、次いで大阪府となります。明治22（1889）年に町村制の施行により各地の村が合併すると、大木村と土丸村は大土村、日根野村と俵屋新田村は日根野村、上瓦屋村・下瓦屋村・中庄村・鶴原村は北中通村、安

松村・樫井村・岡本村は南中通村となります（佐野村・上之郷村・長滝村はそのまま）。明治29（1896）年には郡制の施行により、古代から用いられていた「日根郡」が隣の南郡と合わさり「泉南郡」となります。明治44（1911）年に佐野村は佐野町となり、昭和12（1937）年に北中通村と合併します。昭和23（1948）年にはこの佐野町が泉佐野市となり、昭和29（1954）年に大土村・日根野村・南中通村・上之郷村を取り込みます。こうして今の泉佐野市域となりましたが、ここまで出てきた地名は、字名として今に伝わるものも多く見られます。

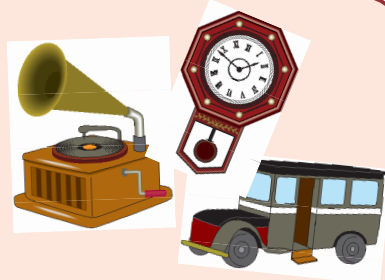
歴史館いずみさのでは企画展「写真とパネルで見る 泉佐野の昭和100年」を開催中です。ぜひお越しください。

レイクアルスタープラザ・
カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日、毎月最終木曜日（いずれも祝日の場合は開館し、その翌平日が休館）
開館時間 午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）
入館料 無料

泉佐野 レトロ タイムスリップ

泉佐野市の昭和頃の懐かしい写真を紹介します。

②7学校シリーズ(7) 日根野小学校



▲昭和30年頃の日根野小学校。日根野小学校は明治5年に創立されました。

▼昭和58年の日根野小学校。かつての校舎が撤去され、鉄筋の新しい校舎がもともとあった鉄筋校舎の横に新築されました。



▲現在の日根野小学校の校舎。

泉佐野市の懐かしい写真は「泉佐野市デジタルアーカイブ (<https://adeac.jp/izumisano-city/top/>)」でも公開中！